第26期・第2回「共生社会に向けたケアサイエンス分科会」議事録

参加者: 荒井秀典、臼井恵美子、内富庸介、大江美佐里、萱間真美(～11:00)、熊谷晋一郎、田中純子、田中真美、永瀬伸子、西村ユミ、森山美知子、山川みやえ、山田あすか

日時: 令和6年5月12日(日)10:00～12:00

場所: オンライン会議

議事録: 山川

議題:

議題1 連続公開シンポジウムの開催時期について(配付資料1)

議題2 連続公開シンポジウムの演題について(配付資料2)

議題3 関連市民団体・関連府省庁への声かけについて(配付資料3)

議題4 関連学協会への声かけについて(配付資料4)

資料:

配付資料1. 連続公開シンポジウムの開催時期案

配付資料2. 連続公開シンポジウム第1回の演題案

配付資料3. 関連府省庁・関連市民団体と声かけ担当の案

配付資料4. 関連学会と声かけ担当の案

議事録

1. 連続公開シンポジウムの開催時期と内容

- 連続シンポジウムの第一回は10月、第二回は翌年5月、第三回は8月に開催予定。
- 第一回のテーマは「家族でも専門家でもなく、私たちごととしてのケア」としてケアサイエンスの概念等をステークホルダー、参加者と共有できるようにする。さらに、ケアサイエンスの重要性と、その普及に向けた取り組みを議論する。
- 第二回は「ケアイノベーションの最前線」として、セルフケアコミュニティの構築と人材育成をテーマに、第三回は「ケアの多様性、包摂性、公平性、持続可能性」に焦点を当てる。

2. 連続シンポジウムの演題と構成

- 各回のシンポジウムの具体的なテーマと演題の構成について詳細に検討した。
- ケアサイエンスの学問的整備や方法論、人材育成の方針について議論することを確認した。
- 各専門分野からのアプローチを通じて、ケアサイエンスの可能性と限界を探っていく。

3. 関連団体・府省庁への声かけ

- 市民団体や政府関係者、関連学会に対してシンポジウム参加の呼びかけをする。
- ケアサイエンスに対する期待や懸念を話し合う機会を提供する。

4. 関連学協会への声かけ

- 共同開催や意見交換を通じて、ケアサイエンスの発展を目指す。
- 学際的な連携を強化するための取り組みを推進していく。

今後の予定

- 具体的な計画の詳細を固め、メールでのやり取り等を通じて調整を進める。
- パネルディスカッションの参加者を選定し、適切なステークホルダーに声をかける。
- 10月の第一回シンポジウムに向けて、ケアサイエンスの概要と問題意識を整理し、当日の議論に備える。

以上